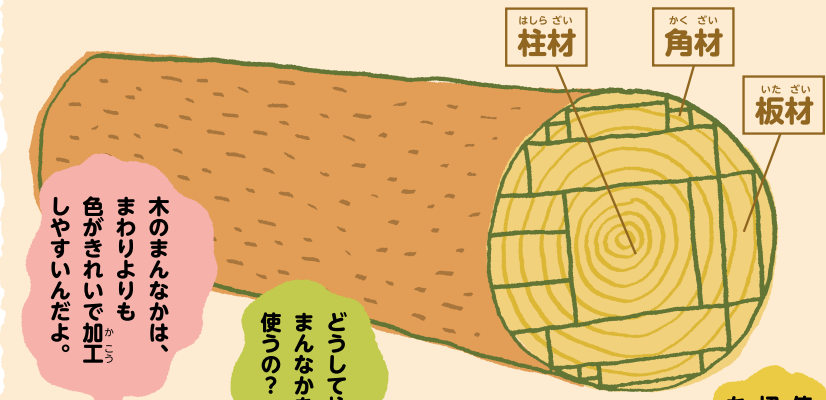


もりたび 5 丸太をぶんがいしてみよう

山で伐られた木は、製材工場に運ばれます。
製材工場では、丸太をさまざまな大きさに加工しています。
製材の仕事のひみつをマモロンと一緒に探ってみましょう。

丸太をぶんがいする 仕事は製材です。

まず丸太の中心部分から、
柱など建物の骨組みになる
「構造材」を取ります。その
まわりの部分からは、床や
かべの材料となる「板材」や
「角材」を取ります。この丸
太をどう切るか決めること
を「木取り」といいます。「木
取り」によって材木の価値
がかわるので、とても大切
な仕事です。

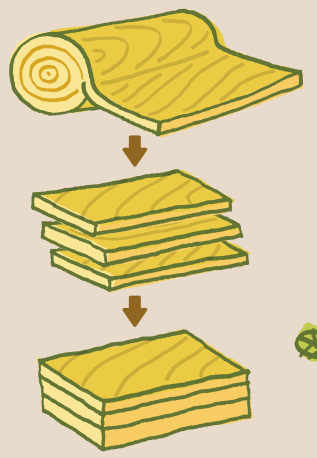


切り方で木目が 変わります。

年輪の中心に向かって切ると、まっ
すぐな木目が出ます。「これを「**柁目**」
目」と呼びます。年輪の中心から
ずらして切れば、「**板目**」と呼ばれ
る、年輪が山形の木目が出ます。

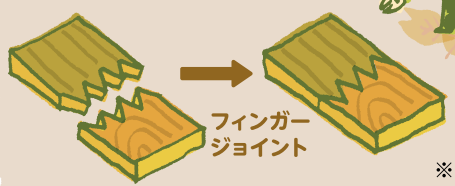


合板の作り方



切った木を
くっつけて
新しいカタチを
つくります。
うすく切った板を重ね
てくっつけたものが、ベ
ニヤ板などの合板です。
また、節などの欠点を
除いた板をつないで厚
く貼り合わせたものが
集成材です。ともに丈
夫で、品質も安定して
います。

集成材のつなげ方の工夫



※フィンガー＝英語で指のこと。



丸太のすべてが 役に立ちます。

枝や丸太の皮を燃やした熱
を使って木を乾燥させた
り、小さな破片（木質チッ
プ）を紙の原料にしたり、け
ずりくずを燃料として使う
など、丸太はすべてを捨て
ることなく、いろいろなこ
ろで利用されています。

木の皮や
けずりくずも
使うなんて！

全部が
利用されて
いるのね。

木材にするだけ
じゃないんだよ。



●学習指導要領とのリンク

【社会】〔第4学年〕県の様子について、資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特徴を考えるようにする。
〔第5学年〕わが国の国土の自然環境と国民生活との関連について、地図帳や各種の資料で調べ、森林資源の分布や働きなどに着目して、国土の環境を捉え、森林資源が果たす役割を考え、表現する。